

少林寺拳法 橋本西道院 道場通信

ドリーム No. 710

発行日 2011年10月11日(日) 発行・文責 長坂 徳久

【最高のデモチーム登場！】

あのデモチームの演武はわずか三回の稽古のみしかしていない。
最初は、このブログのように「ダメダメ！」だった。

(長坂のブログ 10/13 より)

日曜日に地域の祭で演武披露をする。

30分。

その中で中学生女子七人による

橋本西レディース Jr.デモンストレーションチームの演武を行う。

構成も覚えて、今日は流してみた。

まったくダメダメ。

中学生たちは悪くない。

構成がダメダメ。

演武の内容ではなく、組み立て(順番)がダメ。(長坂が作ったのですが)

なぜか？

考えてみた。

技重視に組み立てたからでしょう。

最初は団体演武から入って、次に組演武、そして掛稽古などと。

これは、

for me

の演武構成。

デモンストレーションチームは約6分。

観てくれる人の側から演武構成をしないといけないと思った。

これが、

for you

の演武構成だ。

だから、ガラツと組み立て(順番)を入れ替える。

これでビートが一気に上がり、緊張感とドライブ感がでるだろう。

部外者に少林寺拳法を披露するときが一番大切なことは、PRIDEを忘れないことである。

少林寺拳法というPRIDEを魅せる。

「あんなの俺にもできるよ～」

と言わせるような少林寺拳法を見せてはいけない。

「あんな危ないこと、うちの子どもにはやらせられない！」

そう言わせるぐらいで成功。

誰にでもできる少林寺拳法も大切。

しかし、努力したものにしかできない少林寺拳法のレベ



(長坂フログ 10/14 より)

中学生女子七人による

橋本西レティース Jr. デモンストレーションチーム

昨日のblogのとおり、組み立てをガラリと変えた。

その結果は

副道院長もびっくり!

していました。

一気に変わったからね。

空白禁止を大切にすることと、削りたくないところでも削っていく。

そのことで、洗練され、精査される。

中学生女子なので、大人のような演武はできない。

男のような迫力は出せない。

しかし、女子にしか出せない気迫もあるだろう。

女子だから魅せることができる華美もある。

今日の稽古は花丸でした。

よくがんばりました。

ポテンシャルとリテラシー…彼女たちにはそれぞれがある。



以下、全中用メーリングリストより長坂です。

(前略)

そして、何よりもデモンストレーションチーム。

会心の会心でした!

長坂の願っていたレベルを乗り越す出来栄でした。

最高の間を演じた演武でした。

子どもたちの技術、土橋の音楽、長坂の構成組み立てが三位一体となって見事に調和しました。

あんな心地よいデモンストレーションチームははじめてでした。

ミスと言えるミスがないというのは本当にすごい実力です。

たったの三回の稽古だけであそこまで出来る彼女たちのポテンシャルは計り知れないものがあります。

いや～本当に素晴らしい演武でした。

ありがとうございました m(_ _)m

